

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-6-7	事務事業名 歯科医療連携推進事業	所管部課 保健福祉部健康推進課					
事務事業の概要	事務事業の目的 障害者、在宅要介護者、ウイルス性疾患感染者など、自身ではかかりつけ歯科医を探すことが困難な者が、身近な地域で適切な歯科医療を受けられ、かつ、必要に応じて専門的な歯科医療を円滑に受けられることを目的とする。	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)健康づくりの推進(笑2-1) (主要施策)成人保健事業の実施					
	実施内容、実施方法 実施内容: 専門医療機関の選定・障害者等に対するかかりつけ歯科医の紹介・協力歯科医師に対する研修・事例検討会の開催・訪問歯科診療の受付、相談業務・一般歯科診療所と専門歯科医療機関との紹介、逆紹介の実施 実施方法: 西東京市歯科医師会に委託して実施	根拠法令等 西東京市歯科医療連携推進事業実施要綱					
事業開始時期 平成 12 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()							
評価指標の設定	活動指標名 歯科医療連携推進協議会の開催数	活動指標の考え方(定義) 事業の円滑な運営を図るため、推進協議会を開催する。					
	PR(お知らせ)数	健康事業ガイド、市ホームページによるPR					
	成果指標名 在宅要介護者等からの相談件数	成果指標の考え方(定義) 認知度を高め、利用者数の増加(対前年度)を図り、かかりつけ歯科医の定着を図る。					
	訪問歯科診療件数	身近な地域で適切な歯科診療が受けられるシステムを維持する。					
事務事業データ			単位	14年度	15年度	16年度	17年度
	事業費(A)			13,306	7,633	6,787	5,644
	国庫支出金		千円				
	都支出金			4,167			
	地方債						
	その他						
	一般財源			9,139	7,633	6,787	5,644
	所要人員(B)		人	0.01	0.01	0.01	0.01
	人件費(C)=平均給与×(B)		千円	82	83	83	83
	総コスト(D)=(A)+(C)		千円	13,388	7,716	6,870	5,727
	単位当たりコスト (E)=(D)/(障害者等からの相談件数)		千円	172	65	64	
	歳入		千円	4,167	0	0	0
	活動指標	目標値	回			3	3
		実績値	回	4	0	3	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	件			118	108	
	実績値	件	78	118	108		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	障害者等が車椅子で通院できる歯科医院の情報がほしいとの意見がある。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	東京都26市中16市が実施					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	歯科医師会、医師会、保健所及びその他福祉関係機関との十分な協議を必要とする。					

コード 6-6-7	事務事業名 歯科医療連携推進事業	所管部課 保健福祉部健康推進課
--------------	---------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	14年度、16年度に啓発ポスター等で広報してから認知度も高まり、かかりつけ歯科医等の相談件数及び訪問歯科診療申込件数が増加するなど、良好な実績といえる。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	18年度から介護保険制度の中で、介護予防事業として口腔機能向上の事業が創設されることになり、歯科医師会との連携が必要になってくるものと思われ、歯科医療連携事業の必要性は益々高まってくる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	事業運営にあたっては、歯科医師、保健所職員、市職員で組織する連携会議において事業の運営方法等を協議しながら決定していることと、事業のほとんどの部分を歯科医師会に委託して実施しているなど効率性には問題ない。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市報、健康事業ガイド、ホームページ、ポスター、パンフレットなどにより、広く広報しており公平性には問題ない。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	16年度にポスター500部、パンフレット3,000部を作成配布するとともに、17年度健康事業ガイド、市ホームページでPRに努めた結果、相談件数も増加し、訪問歯科診療も着実に実績を上げている。また、必要性でも記述したとおり18年度から介護保険制度の中で、介護予防として効果が期待されている口腔機能向上の事業が創設されるなど、今後益々歯科医師会との連携が必要になってくるものと思われ、本事業の重要性は高い。今後、利用者の満足度調査、病院との連携実態の把握及び患者搬送手段の確保などを検討し、さらなる充実を図る必要がある。

17年度における改善点	本事業を円滑に進めるため、本年度に協力歯科医療機関名簿を作成するとともに、委託事業を精査し、委託料の減額を行なった。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。